

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		令和4年度 第4回川西市介護保険運営協議会 生活支援体制整備部会(第15回第1層協議体兼地域ケア推進会議)	
事務局(担当課)		福祉部 介護保険課	
開催日時		令和5年3月6日(月)午後1時30分～午後5時	
開催場所		川西市役所2階 202会議室	
出席者	委員	吉岡 健一、木部 美代子、田口 巳義、清水 和恵、平岡 譲 井口 尚子、鷺野 奈美子、成徳 明伸、片岡 大雅、中上 直人 坂根 健一、細海 里恵	
	事務局	福祉部 高塚副部長、田中参事 介護保険課 福丸課長、貞松担当課長、松永課長補佐、山本主査 新家主事	
傍聴の可否		可	傍聴者数 3人
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会議次第		1. 開会 2. 協議事項 (1) 副部会長の選出について (2) 介護サービス事業所へのアンケート調査についての報告 (3) 「空き家マッチング」制度についての報告 (4) アイデアシートに基づく協議 3. その他 (1)福祉と医療の総合情報サイト<かわにしサポートナビ>について (2)次回開催について 4. 閉会	
会議結果		別紙審議経過のとおり	

(生活支援コーディネーターを SC とする)

事務局	<p>それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和4年度第4回川西市介護保険運営協議会「生活支援体制整備部会」第15回第1層協議体兼地域ケア推進会議を開会いたします。</p> <p>私は、本日司会を務めます福祉部介護保険課課長補佐の松永でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>部会員の皆さま方には何かとご多忙のところ、ご参集を賜り誠にありがとうございます。</p> <p>まず初めに、部会員の交代についてご報告いたします。</p> <p>この度、新たにご就任いただいております〇〇部会員に一言ごあいさつを頂戴いたします。</p> <p style="text-align: center;">(部会員 自己紹介)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここからは議事進行に入りたいと思います。引き続き部会長に議事進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>
部会長	<p>本日も皆様の活発な意見交換、ご協議をぜひともよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、まず、部会員の出席について、確認させていただきます。</p> <p>部会員の出席については、部会員14名のうち、本日ご出席をいただいておりますのは、13名でございます。</p> <p>よって、川西市介護保険運営協議会規則第3条第4項の規定に基づき本日の部会は成立しております。</p> <p>傍聴の方は、いらっしゃいますか。</p>
事務局	<p>現在2名の方にお越しいただいております。</p> <p>(※なお、最終傍聴人は3名です。)</p>
部会長	<p>それでは、議事に入ります前に、事務局から資料の確認をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>事前に次第と資料7点をお送りさせていただいております。</p> <p>1点目が、資料1「通いの場」の発展・継続に関する介護事業所向けアンケート結果</p> <p>2点目が、資料2-1 川西市空き家マッチング制度のチラシ</p>

<p>部会長</p>	<p>3点目が、資料2-2 空き家登録申込書及び所有者等情報提供同意書 4点目が、資料2-3 空き家活用登録申込書 5点目が、資料2-4 空き家活用リフォーム助成制度 6点目が、資料3-1 通いの場の人材確保に係る短期・中期・長期的な課題について 7点目が、資料3-2 川西市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の基本的な考え方について(抜粋)</p> <p>以上の資料をお送りしております。また、机上には、委員名簿をお配りしております。皆様、資料はお揃いでしょうか。</p> <p>それでは次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>まず、次第2、協議事項の(1)副部会長の選出について、この度、細見前副部会長が辞任されたことに伴い、副部会長が不在となっておりますので川西市介護保険運営協議会規則第5条第3項に基づき、副部会長を決めたいと思います。選出は、部会に属する部会員の互選によって決めると定めておりますので、部会員の皆様から立候補は、ございませんでしょうか。どなたも無いようですので、私の方から提案させていただきますが、よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">「異議なし」との声あり</p>
<p>部会長</p>	<p>「異議なし」との声がありましたので、川西市介護保険運営協議会「生活支援体制整備部会」の副部会長を〇〇部会員にお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、新副部会長、お席の移動と一言ご挨拶をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">(副部会長 挨拶)</p>
<p>部会長</p>	<p>川西の実態をよくご存知だと思っておりますので、多様なご意見をお願いしたいなと思っております。よろしく願いいたします。</p> <p>では、まず協議に入る前に前回の協議を少し振り返らせていただきます。前回の協議では、通いの場の人材確保について、アイデアシートによりご意見をいただき協議を行いました。</p> <p>協議の中で、「近くに通いの場があると良い」「おしゃべりする場があったら良いが、そこを運営する人がいない」「現在の支援者が運営しやすくなるには」「通いの場へ参加しやすくするためには」等の様々なご意見をいただく中で、まず、課題解決に向けて、課題を短期・中期・長期に分類し、短期的なことから取り組みつつ、中期・長期的には、大きな視点を持ってこういう社会をめざして協議していく。そのために、皆様のアイデアを私と第1層 SC や事務局で整理し、次回の部会でご報告させていただく、という風に締めくくらせていただきました。</p>

第1層SC	<p>また、現在の川西市の空き家対策に関する施策や、介護サービス事業所の空きスペースの提供について、第1層SCや事務局で情報収集を行い、次回の部会にて皆様へご報告させていただき、とお話しさせていただいております。</p> <p>そこで本日は、整理したアイデアの中で、すぐに取り組みそうなアイデアの具体的な協議を行い、そして中長期で取り組んでいくべきものの共有を皆様で行いたいと思います。</p> <p>ではまず、次第の2、協議事項の(2)介護サービス事業所へのアンケート調査についての報告です。介護サービス事業所にご協力いただいた調査結果について、第1層SCからご報告をお願いします。</p> <p>それでは、資料1をご覧ください。前回、部会員のご提案とご助言から役員会で趣旨をご説明させていただき、介護保険サービス事業所向けの調査をさせていただきました。13の事業所よりご返答いただき、会議室からテラスまで、屋内や屋外の多様な空きスペースのご提案をいただきました。また、ひとつの事業所から複数の空きスペースの情報もありましたし、前向きに使うと欲しいと提案をいただいたり、利用できるよう検討いただけるとのことでした。</p> <p>この情報をお互いにサポートナビの関係者サイトでマッピングし、第2層SCや地域包括支援センターに利用させていただきたいと思います。せっかくいただいた情報ですので、活用できるように使いやすい見せ方を検討し、今後、部会でもご報告させていただきます。また、新たにご協力いただける事業所等がさらに広がるように働きかけていきたいと思っておりますので、介護保険サービス協会やほっとかへんネットにも引き続きご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。ご質問等ございますか？無いようですね。</p> <p>集計を見ていただいてわかるとおり、介護保険サービス事業所にもかなりご協力いただきましたので、活用できるように見える化をしていく、マッチングをしていくという方向です。</p> <p>この後のアイデアシートに基づく協議の中で再度お話をさせていただき、説明を付け加えてさせていただきたいと思っております。</p> <p>では続きまして、協議事項の(3)空き家マッチング制度についてまずご説明をいただければと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
第1層SC	<p>前のご意見をいただいた「空き家マッチング制度」について、ご説明させていただきます。</p> <p>この制度は、使われないままになっている空き家を掘り起こし、空き家所有者と活用希望者のマッチングを行うなど、流通や活用を支援し空き家問題の解決につながる取り組みです。</p>

希望する内容にマッチした空き家が現れた場合、所有者の意向に応じて、市および川西市が連携協定を締結した兵庫県宅地取引業協会阪神北支部と NPO 法人兵庫空き家相談センターで構成される流通対策会議を開催し、専門的な知見から空き家活用につながるよう方針などを示すとともに、活用希望者に具体的な提案を行う流通対策アドバイザーを選定し、支援を行い、空き家が抱える問題の解決とともに、流通を促す仕組みです。

現在、本部会で協議している拠点の対策として、空き家マッチング制度を活用し、空き家を地域活動の場として利用する場合の手続きを説明させていただきます。お手元の「空き家登録申込書及び所有者等情報提供同意書」と「空き家活用登録申込書」をご覧ください。

まず、介護保険課が「空き家活用登録申込書」を住宅政策課へ提出し、登録することで、空き家所有者が「空き家登録申込書及び所有者等情報提供同意書」の相談内容欄の中の「地域での活用」にチェックを入れた場合、住宅政策課から介護保険課へ情報提供され、その情報を SC が共有します。

SC が地域活動団体の希望を聞き取る中で通いの場が必要な地域と空き家マッチング制度で情報共有した空き家の情報とが合う場合は、次に地域活動団体が「空き家活用登録申込書」を住宅政策課へ提出します。提出後、専門家で構成される流通対策会議において活用することが可能か等が協議され、可能であれば活用できるという流れになります。

この制度は、本部会で地域課題としてあげられている拠点の確保の解決に資する取組みでありますので、地域で活用が進むよう働きかけていきたいというふうに考えております。空き家を活用するにあたって、注意する点は、放置された空き家を活用するイコール賃料が安いと思われるかもしれませんが、貸す側からすれば設備等の維持管理等が必要なため、決して格安とは限りません。また、耐震基準を満たしていない物件も多く老朽化などによるリフォームが必要な場合、添付資料でお示しているリフォーム助成制度もありますが、工事費を全額補助できるわけではありません。

また、用途地域指定などの関係法令による規制があるため、希望する場所で必ず事業ができるとは限りませんし、そもそも空き家の登録は所有者の意向に左右されるため、希望する地域、場所の登録があるとは限りません。

なお、住宅政策課では、市内全ての空き家に空き家マッチング制度の案内が送付出来ている訳ではありませんが、空き家所有者に対して、随時、空き家マッチング制度の案内を送付しています。また、空き家マッチング制度の今後についてですが、制度開始以来、空き家登録件数が 35 件あり、流通対策会議において専門家等のアドバイスを受け、内 20 件が解決または市場へ流通しています。20件の内訳は、活用希望者とのマッチングが2件、アドバイザーによる解決が9件、所有者本人の解決が9件です。活用希望登録も 50 件超えであり、一定の効果が見られることから、今後

<p>部会長</p>	<p>も継続する方針とのことです。 大まかではございますが、説明は以上となります。</p> <p>ありがとうございました。空き家マッチングについての説明でございました。 それでは、本日の協議事項の(4)アイデアシートに基づく協議を行いたいと思います。本日は、2時間程度こちらの会場を用意していただいておりますので、午後3時過ぎぐらいには終わるようにしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>前回、皆様にいただいた通いの場の人材確保に関するアイデアを短期、中長期に整理した資料となります。まず、場所の確保、次が広報・啓発、2枚目が活動の継続発展で、その下が他部署との連携で3枚目にその他としています。</p> <p>本日は短期的な1, 2年でできるようなところを協議できればと考えております。短期的なアイデアに具体的にどのように取り組めばよいのか、皆様に検討いただくまでをゴールにしたいと思っております。まず、短期、中長期という風に分類したものがこれでよいかと、事務局案の方針で良いのか、新たに付け加えるような方針があれば付け加えてから、取組む内容を検討いただければと思っております。</p> <p>「協議体としての取組み」が既に記入しているアイデアがあるのは、皆様がアイデアとともに出してくださった取組みへの提案を記入させていただいておりますので、その内容を皆様で深め具体的に進めていただければと思っております。</p> <p>まず、3枚目の「その他」というところを見ていただきます。これについては、ここだけの話で収まるようなものではなく、子育て世代への転入の促進は、川西市全体としての大きな捉え方が必要です。今後、いろんな事業体と協力をしながらやっていきますので、将来的な取組みとして捉えていただければと思っております。基準緩和型サービスの利用促進、要支援・事業対象者以外へのフレイル改善短期集中プログラムの利用の拡大というのも生活支援体制整備というよりも介護保険課で検討した後この部会で共有するという風に考えております。ここに分類分けさせていただいて、「その他」は、今回は協議せずに今後の協議とさせていただければと思っております。</p> <p>まず、1つ目のカテゴリの「場所の確保・活用」ですが、空き家のマッチングや介護保険サービス事業所の活用については、先ほど第1層 SC からご説明いただきました。何かご意見があれば協議しますが、その前に具体的取組みとして第1層 SC から先ほどの説明以外に付け加えることがあればよろしく申し上げます。</p> <p>短期に分類された空き家の有効活用については、先ほどもご説明させていただきましたが、空き家マッチング制度の情報を住宅政策課と共有し、地域活動に利用してもいいと申請いただいた物件と地域活動に活用したい方の希望が合致すれば、活用へつなげることも検討できるのではないかと思います。SC が地域の希望を把握し、</p>
<p>第1層SC</p>	<p>短期に分類された空き家の有効活用については、先ほどもご説明させていただきましたが、空き家マッチング制度の情報を住宅政策課と共有し、地域活動に利用してもいいと申請いただいた物件と地域活動に活用したい方の希望が合致すれば、活用へつなげることも検討できるのではないかと思います。SC が地域の希望を把握し、</p>

<p>部会長</p>	<p>地域包括支援センターとも連携して、空き家情報を有効活用できればと思っております。具体的な取組みとして住宅政策課と SC が連携しながら有効活用に継続して取組んでいきたいと思っております。活用事例が生まれましたら、この場でご報告をさせていただきます。</p> <p>もうひとつ、空きスペースの有効活用ですが、部会員にご尽力いただき、介護保険サービス事業所から情報をいただきました。情報を有効に活用できるようにかわナビの関係者サイトで見えやすく、使いやすくマップ化し、地域包括支援センターと SC で有効活用してまいります。マップ化ができましたら、このような流れでやっていきますと、例えばフロー図にして皆様に報告させていただきたいと思っております。</p> <p>この短期の空き家有効活用と空きスペース有効活用につきましては、皆様のご提案で具体的に取組んでいけるようになったかとは思っております。以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>前回やその前々回の話の中で、コロナが少しずつ収まる中であっても身近に通う場がないという課題が出ました。川西市内は、公民館や会館であったり、いこいの場というところもあるが、坂道等があり、なかなか通うのが大変である、もっと身近な場所に集いの場みたいなものがないと、なかなか通うことができないという課題があり、空き家の活用や介護サービス事業所の活用というようなところで、皆さんのアイデアの中からこのような取組みが生まれました。</p> <p>空き家の活用であったり、部会員と介護保険サービス事業所にもご尽力いただき、介護保険サービス事業所の空きスペースやそれ以外の協力の提案、ということを検討いただき、先ほどの資料のようにまとめたという状況であります。せっかく情報をいただきましたので、どこの地域にどういう空きスペースがあるのかということ具体的にマップに落とし込んでいって、それをかわナビにアップをしたりという流れ、仕組み、利用方法を展開をしていくという準備に具体的に入っていくということです。マップ化であったり仕組みづくりであったり、具体的な利用方法は、これからの段階ですので、部会でご説明していきたいなと思っております。</p> <p>第1層 SC でこの空き家のスペース、介護保険サービス事業所のスペースを活用できるように整えていき、地域包括支援センターや第2層 SC が地域ごとのニーズもわかっておられると思いますので、各地域からの希望とつなげるという流れになっていくのかなという風に思っております。</p> <p>具体的に何か皆さんの方から何かございますか、はい。</p>
<p>部会員</p>	<p>ひとつ質問させていただきたいんですけど、今回この介護保険サービス事業所へのアンケートは、全体で何事業所ぐらいに取られたのかということと、この調査は高齢者施設に限定しているのか障がい者施設は含まれるのか、どのような配布先なのかを教えてください。障害者施設等にも調査を行なってもよいと思っております。</p>

事務局	<p>今回の事業所向けのアンケートですが、部会員にもご提案いただきまして、介護保険サービス協会に加入している事業所向けにアンケートを実施しております。</p> <p>対象種別サービス種別としましては、介護保険施設特別養護老人ホームであったり、老人保健施設、グループホームや有料老人ホーム等、介護保険の特定施設として指定を受けた事業所、そして小規模多機能型居宅介護の施設、介護保険施設に併設されているデイサービスなどの施設に対して、調査を行っております。</p>
部会員	<p>この資料の枠外に小さい字で申し訳ないのですが、調査の該当事業所の説明を入れさせていただいております。該当事業所が28事業所ほどありまして、介護保険サービス事業所の事務局へお願いしアンケートを送付いただき、情報を提供していただきました。</p> <p>また、ご指摘いただいたように、今回調査させていただいた以外に、障がい者施設等にも調査させていただければと思います。</p>
部会長	<p>その他ございますか。</p>
部会員	<p>空き家等の具体的な場所が出てきましたけど、それをどう活用できるのかなと感じましたし、アンケートも定員が2, 3人と書いていただいているところは、実際に使えるのか疑問です。でも、日曜日利用可能というように出しているところは、受け入れ体制ができてるのかな？と感じております。けれども、利用にあたって相談が必要と記載されているところは、実際に使えるのかなって思います。</p> <p>そして、先ほどの空き家ですけれども、先ほどお話されたように、すぐ使えるわけではない所が多いですね。空き家は問題点が多いのではないかと、思います。</p>
第1層SC	<p>介護サービス事業所が調査の中で「ご相談の上」と書いてくださっているのは、今回初めてこういう調査をさせていただきましたので、どのように使うことを希望しているのかわからないことがあるからではないかと思っております。</p> <p>役員会でご説明させていただいた時は、皆様前向きにお話を聞いてくださっていましたので、このように使わせていただきたいという具体的な相談をすれば、ご協力いただけるのではないかなと、考えています。ただ、相談と書かれていますので、必ずしも絶対使わせていただけるかどうかは、わかりません。</p> <p>SCと地域包括支援センターの担当者の説明等も大きく関係してくると思いますので、私達にご協力いただけるよう尽力していかないといけないと思っております。</p> <p>空き家に関しては、先ほどご説明させていただきましたように、老朽化等ですぐ使えるところが少ないのが実情だと思います。地域の活用のチェックを入れてくださってる物件もごくわずかですので、実際に使えるのか、全くわかりません。ただ、こういう制度が住宅政策課にあり、私どもが情報を共有し、実際の利用をめざして連</p>

部会員	<p>携していくことで、空き家所有者の地域で活用しても良いという登録の増加にもつながれば良いと思っています。</p> <p>この部会での皆様の提案でこのように動くことができました。今後、有効に活用できることをめざしていきたいと思います。</p> <p>そうですね。おそらく、雨戸は開かないとか、そのような状態で空き家になっているところが多いですから。では、どこで修理してもらえるのか、財源はどのようにするか等があります。空き家があるから喜んで使おうということにはならないのかな、と思います。所有者の条件がどのようになっているのか、と私達が使えるようにするメンテナンスをどうするか、ですよね。空き家は使いづらいと他で聞いたりします。けれど、そのあたりをきちっとやっていただいて、利用できるなら嬉しいと思っています。</p>
第1層SC	<p>はい、利用するには、いろいろな問題があると思っています。今後も部会でご相談をさせていただくことがあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。</p>
部会長	<p>空き家リフォーム助成制度というものもありますので、そういうものを活用し整備できないか、川西市全体で考えるとこの制度の活用がまだまだ少ないのではないかというご意見をいただきました。</p> <p>今回は介護保険サービス事業所を中心に調査しましたが、先ほどご提案いただいた障がい者施設等も同じように交流スペースや会議室の活用ということも提供できるのではないかと、というご意見もありました。これをきっかけに範囲を広げてアンケートを実施することも、広げていきたいと思っています。</p> <p>介護保険サービス協会への調査には、この度大変ご尽力いただき、ありがとうございました。ご意見ございますか？</p>
部会員	<p>はい、ありがとうございます。先ほどおっしゃった通り、介護保険サービス事業所の感触としては、五分五分かなと思います。空きスペース以外にも様々な協力を検討するには、ハードルがあるような気はしました。</p> <p>しかし、このような働きかけを今回だけではなく継続して行うことで例えば1年に1回とか定着させればおそらく事業所もしっかり判断できるようになり、より協力できることを考えます。事業所によっては、アンケートが担当に届いてない可能性もあると思います。継続して呼びかけをしていただくとありがたいと思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。他にはいかがですか</p>

部会員	<p>利用するにあたって、様々な問題がでてくると思いますが、少人数が利用できる空きスペースでも小規模のグループが利用するには、有用なのかなと思います。</p> <p>このアンケート結果を見させていただいて、利用できる日時のところ「スクリーンやマイクの設備があります」と細かくお答えいただいている事業所もあります。このような内容は、重要だと思います。私達も地域に出た時にどんな機材が使えるか、持って行く必要があるのか等がわからず困るときがあります。そのような情報があれば、場所が選択しやすいと感じております。また、機材等を借りる時に費用が発生するのか、地域活動団体であれば無料だが、趣味的な活動は有料になるなどの情報や、借りる相談をする担当者が誰かということも必要だと思います。そういったことも今回は、初めてのは調査ですから、そこまで求めるべきものではないですが、今後は、深めていく必要が出てくるのではないかなと感じました。他にも大体どれぐらい前までに申し込むのか等も聞き取りして、リスト化ができると非常に使いやすくなるのではないかなと思いました。</p>
部会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>次回までにそこまでの詳細が把握できるかは、なかなか難しいですが、そういう情報もマップに掲載することができればと思います。時間帯や料金、どこへ申し込みが良いのか、使用方法を調査できた段階で報告させていただきたいと思っております。</p> <p>短期的に取り組む課題の空き家や空きスペースについて有効活用できる取組みを第1層 SC や私から説明させていただきましたが、第2層 SC さんいかがですか。</p>
第2層SC	<p>はい、私の担当地区でもお亡くなりになられて、空き家になった家を相談を受けたことがあります。けれど、賃料が10万円ですと地域で利用するのは難しいと思いました。地域が費用を負担するのは難しいのでリフォームの助成以外にもランニングコストの助成の仕組みも必要かと思っております。使って欲しいし、使いたいけれど費用のことで頓挫することもあるのではないかと空き家の活用に関しては、思いました。</p> <p>空きスペースに関しては、今回このように調査してもらって件数は多くないとしても活用していけるのではないかと思います。</p> <p>前回もお話させていただきましたが、お寺の本堂を使わせてもらうとか、小中学校、幼稚園の空きスペース等も非常にマッチングしやすく利用しやすいのではないかと思います。その他にも空き店舗ではなくても店舗の休みの日に開放してくれる店舗を開発していくとか、あらゆるところに意識を持たなければ、歩いていける距離に居場所を作るのは現実的に難しいと思います。それは、私達が開発していく部分かもしれませんが、全市的には、商工会や教育委員会と話をしてもらうことも検討してもらいたいと思います。以上です。</p>

<p>部会長 第1層SC</p>	<p>他に何かありますか、はい、どうぞ。</p> <p>調査に関しては、先ほども言いましたが、介護サービス事業所の空きスペースの情報更新や新しい情報の掲載やもっと様々な団体に調査を行っていきたいと思います。</p> <p>空き店舗や空き教室につきましては、資料2枚目の中長期に記載させていただいております、商工会や教育委員会等へ働きかけや課題解決に向けて連携できるよう取り組んでいくことをめざしていきます。</p>
<p>部会長</p>	<p>はい。このように短期・中長期的に全体を捉えながらやっていくことができればという風に思っています。すべてを短期に取り組むことは、難しいです。</p> <p>ここまでで皆様の意見をお聞きして、空き家はすぐに活用するには難しいところもあるという印象を受けました。</p> <p>その他には、要支援・事業対象者以外の短期集中フレイル改善のプログラムの利用拡大のところは、空きスペースと非常にマッチングしやすく、地域包括支援センターがこの事業をはじめるので使いたいとなれば、おそらく費用を発生させることはないと思います。そのあたりも今後、介護保険サービス協会の方と検討することになると思います。</p> <p>他には、ございますか。</p>
<p>副部会長</p>	<p>はい。例えば、うちの事業所は、日曜日に月1回利用可能とアンケートに書いていますが、実際は毎週空いています。月1回と書いているのは、実際の利用方法が海のものとも山のものともまだわからないので、現時点では月1回と書いておこう、みたいな感じで記入しています。その他の事業所も日曜日20～30人利用可能とありますが、実際は、もっと多い人数が利用できると思います。どのように利用されるのかわからないので、このような書き方になっているかと思えますから、フレイル改善短期集中プログラムなどにも利用すればよいと思います。</p> <p>どこかの事業所の空きスペースがこんな風に利用されていると他の事業所や地域が知ることで、「うちの事業所も使えますよ」と広がるし、利用できることを知り活用する団体も増えると思います。そうなると、活用が進みやすいかという印象です。</p> <p>マップにするのもそうですし、申し込みもかわナビを使うようにすれば、皆様がかわナビを使うことにつながるというか、地域包括支援センターも事業所も少し強引かもしれませんが利用するようになって、更新する事業所も増えるのではないかと思います。技術的に可能であればですが。現在も研修の申し込みを利用してますよね。</p>
<p>事務局</p>	<p>かわナビへの質問ですので答えさせていただきます。</p> <p>基本的には、介護保険課からの研修の申し込み等はすべてかわナビで行っており</p>

<p>部会長</p>	<p>ます。サービス事業所の空き情報は、3割程度は、毎週更新してくださっていますが、見ていただけていない事業所もありますので、そのあたりの普及啓発をしていくために検討をしているのが今の状況です。かわナビの利用方法の新しい提案や工夫は、ずっとしていかなければならないと思っています。こういうご提案も考慮し、いろいろ組み合わせて考えていきたいと思っています。</p> <p>皆様からの貴重なアイデアから第1層協議体として一歩進めたのかなという風に思っております。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>コロナ禍もありましたが、少しずつ動きだしてやっと地域活動もこれからということなので、具体的な情報を捉えながら、利用しやすい仕組みづくりも考えていきたいと思っています。</p> <p>そして、中長期に移りまして、wi-fi環境、移動支援につきましての方針は、財政的なこともありますし、今すぐというのは難しいかなと思っていますので、この部会での皆様の意見や第9期介護保険事業計画などを分析しながら、考えていきたいと思っています。ここで協議する時期がきましたら、この課題を取り上げていきたいと思います。</p> <p>今回の具体的な取組みへの協議は、短期的なところを進めてまいりたいと思いますので、広報・啓発の欄を見ていただければと思います。</p> <p>ここに出てきたアイデアは、地域活動の広報、地域の活動を動画にして啓発する、Webで配信するなどのアイデアが出ています。方針は、地域活動の重要性・必要性・社会参加によるメリットを全市的に啓発することで地域活動がより活性化するのではないかとこのところではあります。協議体としての取組みは、皆様からご提案いただいたものを記入させていただきました。広報誌への特集記事の掲載を依頼をしたらどうか、かわナビを利用した啓発や動画配信を考えたら良いなどです。第1層SCから広報について補足をお願いします。</p>
<p>第1層SC</p>	<p>広報誌への特集としての掲載申請を令和5年度もしております。掲載できるかは、広報広聴課から令和5年度に入ってから連絡があるまでわかりません。特集が組めることになりましたら、皆様にご報告をして、どのような内容で載せるのかの協議も含めて、どのように進めていくかを皆様で考えていただければと思います。</p>
<p>部会長</p>	<p>はい。ということで、プッシュはさせていただいております。広報誌に載せていただきたいということを申請していますので、掲載できるとなりましたら、その時に具体的にどのような内容をどのような媒体を活用して特集するのかということを確認していききたいと思っています。</p> <p>次は、具体的な地域活動の動画配信や、講演会研修のWeb配信というところで</p>

部会員	<p>すが、何かご意見などございますでしょうか？</p> <p>広報・啓発の部分でどもができることと言いますと、シートにも書かせていただきましたが私の所属する団体でも通信を発行してます。割と部数も多く、皆様にお伝えできるツールのひとつかなと思っています。市の広報誌も私共の通信も2つ見ることができればより良いかと思っています。そのような形でも広報に協力できるかなと思います。</p> <p>その他としては、うちも掲載していただいているのですが、かわナビに動画をアップすれば良いと思います。最近、不動産屋が空き家の中を動画で撮って、それを見れば直接見学しなくてもわかるようにする等ありますよね。そういうことも良いと思います。動画を載せると効果があるとなると、重い腰も上がり動画を撮り始めるのではないかと思います。以上です。</p>
部会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>すでに所属されている団体ではされているということですが、動画を撮るための機材であったり、ノウハウというものがないと、動画配信となると難しいのではないかと、専門性がないとできる団体は限られてくるのかなと思います。例えば、できる方の発掘というか、協力隊というものを作って、取材に来てもらったり、それを編集してもらったりする仕組みがこれからは必要になるのかなと思いますが、どうでしょうか？</p>
部会員	<p>「地域でのこのような活動がいいね」と、見せるためだと思いますが、やはり動画での見える化となると専門性が問われるようなことになってきます。職員の中には、詳しい方もいらっしゃるかもしれませんが、地域の中で得意な方を発掘して、「そういうことがありましたら連絡差し上げます」とするのは、難しいと思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。他には、いかがですか。</p>
部会員	<p>お聞きしたいのですが、この通いの場というのはもう動き出してるんですか、実際やってるところがあるのですか。</p>
第1層SC	<p>通いの場は、地域で行われています。サロンや居場所・認知症カフェ等様々な形で地域の皆様が既に行っている活動です。その活動が気軽に歩いて行ける場所がない、行くのが不便であれば、歩いて行ける地域内に場所を探そうと今回の調査になりました。</p>
部会員	<p>はい、わかりました。この通いの場を作るための人材確保ですが、地域で何かするわけではないですね。やはり地域は高齢化してますし、同じ方がいくつも役を担って</p>

<p>部会長</p>	<p>くださっていて、とても大変だったりするので何かしなければいけないとなると難しいと思います。でも、地域をこれからもっと活性化するためには、人手が必要ですので、地域で大きな課題になっています。</p> <p>あと、この通いの場の予算等はどのようになっていますか？</p> <p>第1層 SC お願いします。</p>
<p>第1層SC</p>	<p>はい、地域の方に何かしていただくというのではなく、例えば通いの場の活動をしてくださる方を増やすためには何をすれば良いのかの仕組みや取組みをこの部会の中で、皆様と検討していきます。</p> <p>助成についてですが、現在、川西市では通いの場に対しての助成は行っておりません。いきいき百歳体操の立ち上げに対しての地域包括支援センターの予算はございますが、お茶を飲んでおしゃべりする等で集まる場に関する助成は現在ございません。</p>
<p>部会員</p>	<p>その助成とは違うかもしれませんが、補助というか、現在、通いの場には、ほとんど補助するような人は来られていません。ですが、2025年なので、団塊の世代が高齢化に突入しますし、やはりだんだんと75歳の以上の方が介護保険のサービスだけでは、ちょっときついとなります。そういう方がいらっちゃって、通いの場にお方を受け入れるのであれば、厚生労働省がやっている介護保険の中の仕組みの一部として、助成が必要だと思います。私、新聞読んだんですけれども、そういう風に助成されると書いてあったかと思っています。</p>
<p>部会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>いただいた意見をお聞きすると、これからもっと広報を行ない情報提供ができれば良いと思いますし、講演会や研修の配信ということもできれば、より活性化していくのではないかと私も思います。またそういう事例を見せてアピールすれば、より広がるのかなと思っております。今後は、地域の中でやってることやPRしたいことを動画等を活用して啓発していくことを検討できればと思っております。</p> <p>中長期としましては、定年退職された方を対象に地域活動への参加啓発をもっとしていけばよいというアイデアもありますし、専門職への地域資源の理解というところでは、介護保険サービス事業所に対して空きスペース等のハード面だけの貢献ではなく、人材等のソフト面においても貢献してもらえるように進めていけば良いのではないかというアイデアもできました。介護保険サービス協会には、今後の連携の中で人的な協力という話も検討いただければと思っております。</p> <p>そして、次にスローガンについてですが、お手元の資料が川西市の第8期介護保険事業計画のスローガンになっております。全ての人が最期まで自分らしく暮らし続</p>

	<p>けることができる地域共生社会の実現が、第8期の大きなテーマです。このテーマは、大きくて、実現ってというのは本当に難しいですね。最期まで自分らしく暮らす地域共生社会の実現までは、なかなかできないけれど、やはり目標掲げない限りは何も進んでいかないということです。</p> <p>大きい目標を具体的に何をしていくのかというのがその下です。ここからは基本目標です。最期までいきいきと暮らすという意味は、健康寿命と平均寿命の乖離というのがありますので、よりその乖離を小さくし、健康寿命をできる限り延ばすというところが介護予防と健康づくりということです。</p> <p>次は、地域のつながり合い、助け合いという地域共生社会の実現とあります。ここに生活支援体制整備事業も含まれるのかなと思っています。認知症になっても自分らしくということで65歳以上の5人に1人は、認知症というような統計もあります。ますます認知症ケア推進のところにも力を入れていくということです。私は、別の事業体でここを検討することをしております。認知症初期集中の説明にもあった施策を現在もどんどん展開していただいています。</p> <p>基本の4、住み慣れた地域で安心して暮らすというところや基本目標1というのがこの生活支援体制部会の中で重要項目になります。これらのスローガンを忘れず、このスローガンからはずれた会議をしてしまうと、生活支援体制整備部会で話し合ってる意味が無くなります。あくまでもこのスローガンに向かって私達が何をしていかないといけないのか、何を話し合っていないといけないのかを常に立ち返り、振り返らなければいけないと思います。裏面にそれぞれの項目に対して細かな捉え方が記載されているということになります。何かございますか。</p>
部会員	<p>難題な施策ですが、地域共生社会の実現というのは、全国的にも進めていかねばならないということで、障がいがあろうがなかろうが、性別も問わず、すべてが共に暮らす地域共生社会を実現する。ここに書かれてる通りですし、自分らしく自分の地域で暮らし続けることが一番ということもちろんその通りですが、かなり雲をつかむような目標の説明であったように思います。ハードルが高いですね、だからどうするのかははっきりしないので、結局そのままののかなと考えていました。ただ、やはりこの地域共生社会の理解者を作り、理解を市民に広げながら進めていくしかないと思います。まあ、介護保険課もこれからしっかり取組んでいくということでしたので、期待をしているところでございます。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ぜひ、この現状を議会の場でも発言いただき、うまく進んでいければ感謝でございます。</p> <p>それでは、次の項目にうつらせていただきまして、活動の継続・発展に移ります。その中で短期・中長期に分け、まずできることは、支え合い活動者の全市的ネット</p>

副部会長

トワークというところですよ。活動の全市的ネットワークは、課題の抽出や新しい立ち上げに向けて協議をしていくところですよ。活動ごとのネットワーク化での勉強会や情報共有での各地域の活動の活性化をめざしていくところですよ。このネットワークは、第1層と第2層のSCで取組んでいくということですので、また報告をいただけたらと思います。これまでの協議等で、副部会長どうでしょうか。

そうですね、重複しているところや項目分けが違うかなと思うところもありますが、いろんな課題をそれぞれの項目別に分類して、取組むのは、いいことなのかなと思います。いろんな視点から見てここが課題ではないかというのも新たに見えてくるかもしれません。

通いの場の活動継続のためには、何をすれば良いのか、調査した空きスペースを活用することや、活動を広報することももちろん必要だし、いわゆる担い手が必要、行政の支援も必要であったりとか、学生との協力やいろいろなところと連携する等、すべて大切なことだと思います。

少し前後してしまいますが、スローガンやケースワークとコミュニティワークに関係して、実際に川西に最期まで住んでいただくのが一番いいと思う反面、遠方に行かないと入る施設がないので川西市を出るしかないとか、反対に関東にお住まいの方が身内のいる川西市の高齢者施設を選ぶということもあるわけです。

家族や身元保証人が近隣にいないのであれば、日常生活全般のサポートをしてくれる施設への入居を考えますよね。ご本人は川西市に住んでいたいに関東に家族がいて近隣には身寄りがないとなった時に川西市の施設が受け入れるのか、本当に川西市で入居するのが良いのかもあります。最期まで住み慣れた川西に住むのにも多くの問題があると思います。認知症を発症してしまってから、施設なのか自宅なのか、ご本人の本当の気持ちを聞くことができるのかも判断が難しいと思います。これは、アイデアシートの「活動の継続・発展」のケースワーク・コミュニティワークのフレームにも繋がってくると思いますが、この辺りの連携が進んでいくと地域共生社会も少しは進んでいくかなと思います。

これからは、後見人等の啓発も必要だと思います。例えば私が30年後認知症になったとして、最期まで川西市に住もうと思った時に後見人等が、「こういう価値観を大事にしてたよ」と代弁してくれるようなシステム作りっていうのが今後は大事だと思います。もちろん健康寿命を延ばすと言う取組みが充実しているのが大前提ですが。

あと、いろいろなネットワークの構築であったり、ICTの活用も重要だと思います。若年層の方はICTは得意だけれども、地域活動に参加していない人が多い、でもごくごく少ない人数かもしれないけれど興味を持っての方もちゃんとおられると思います。そこは、ちゃんとすくい上げて大事にしなければならぬと思います。反面、「今困ってるよ。」と思っている地域の方々は、年配の方が多く、なかなかICT

<p>部会長</p>	<p>の活用を厳しく感じておられると思います。今、介護保険課でやっているスマホの使い方教室等をどんどん進めていくと、こういうことは、徐々に徐々にかもしれないけど、解消していくのかなと思います。喋ってるうちに感想文みたいになってしまいましたけど、はい、以上です。</p> <p>ありがとうございます。支え合い等は、まず、地域ごとに捉えていくというところがやっぱり大切かと思います。このあたりについては、第2層生活支援 SC さんとして地域ごとに捉えていただいて、そこから第1層で全市的な取組みにしていく流れではないかなと思いますが、第2層生活支援 SC さんいかがでしょうか。</p>
<p>第2層SC</p>	<p>はい、すみません。手をあげようかなと思ってたところ、当てていただいてありがとうございます。ネットワーク的なことというより、少しかいつままでの説明にはなりますが、資料の上から3つ目のマッチングカードについては、参画協働課で作ってくださった仕組みですが、ボランティアグループで試しにやってみたり、地区福祉委員会の役員に集まっていたいて、役員研修という形で体験をしていただきました。若い世代に参加してほしいというのは当然のことながら皆さん思っているのですが、じゃあ、いざどういう人に来てほしいのか、どういう活動に参加してもらいたいのか、具体的に深めていくと、なかなか出てきません。地区福祉委員会の研修ではグループワークをしたのですが、私が参加したグループは、「40代で中学生ぐらいの子供が2人ぐらい、子育ても少し手が離れてきて、自分の時間が作れるようになった。」という設定でそういう方に地域活動に参加してもらうには、どうしたらいいだろうか、まずその人の気持ちを考えてみる、ということにしました。ところが書けないんですよね、40代の子供のいるお母さんは、どうすればボランティア活動したいって思うんだろうという想像ができない。いつも課題として若い方に参加して欲しいと言っているが、いざ若い世代が参加してくれても自分達の活動の仕組みやあり方に対応してくれるのかまで考えることができていないということがわかりました。人材不足、人材が欲しい、ということまでで、ボランティアしたいって思ってる人の気持ちっていうのがおざなりになってしまっているかもしれません。</p> <p>実際、私達が地域の中で見聞きして感じるのですが、若い世代が参加してくれないのは、若い世代に課題があるのではなく、活動を受け入れる団体側のやり方、手法にあるのかなと、細かいところだと会議の時間が平日だと若い世代は、仕事しているので出席できません、一例ですけれども、そのあたりも検討し直すということも、必要だと思います。</p> <p>あとスローガンですが、地域共生社会の概念を国は、支え手受け手の関係を無くしていく、としています。そもそもどちらかの役割しかないっていうのは不自然で、人っていうのは支えて支えられ、生活していきますよね。その当たり前のところの周知というのが必要です。</p>

部会長	<p>もうひとつが、以前も言いましたが、やはり縦割りを無くしていくということだと思います。制度や分野の縦割りを無くす、と言うのが鍵だと思います。けれども、もちろん川西市に限らずなんです、川西市は、できていないと思います。「その他」のところに今後、協議していく云々と、まとめてくださっていますが、「その他」だけではなく、そもそもこのアイデアすべてが、介護保険課だけ、この部会だけという単独で考えていくのは、やはりもったいないし無理ではないかという気がします。この限られた人の中に出るアイデアには、限りがありますし、この部会にそれぞれの分野に専門性がある人がいるのかということ、そうではない部分も多いので、ここではある程度の方向性を定めるだけにして、別でワーキンググループみたいなものを作って、しっかり議論できる面々で議論し、またここに上げて、最終のチェックをしていくというのが、必要だと思います。</p> <p>私達の行っている第2層の協議体でも、現在、福祉ネットワーク会議を第2層協議体に当てているのですが、そこでも1つの活動を具体的に協議していくところまではいきつかないのが現状です。そこで議論してこれをこうやっていこうってなったらそれに合わせて特化した実行委員会みたいなものを立ち上げて、そこでしっかり議論していく必要があると思っています。最近言われている「群」というか、協議体をひとつだけ用意するのではなく、いろんな協議体の場が合わさって、第2層協議体を形成するというようなものを考えています。第1層でもそのように考えていただけたらと思います。</p> <p>従来から申し上げています第2層圏域からの人材それから財源、移動、拠点、この4つの課題がなかなか1つずつしか進んでいない、でも地域はもう待ってられない現実があるので、スピード感を持つ意味でも、複数の第1層協議体の場を作る、そういったところも議論していくのも必要ではないかと思います。以上です。</p> <p>はい、ありがとうございました。まずは、第2層と第1層は、協力体制の中でやっていけないといけないので、第二層圏域から上がってきたものを第1層で捉えて、この部会で協議する。必要な場合は、ワーキングとして協議してから、市全体として、この部会で捉えていったらどうなのかという提案をいただきました。この部会の中に新しいワーキングができましたら、しかるべき方も一緒に入っていて協議していく、そしてこの部会で広く捉えていくようにしていきたいなと思います。それに基本目標の1から5が達成するように、目標ごとに集まって協議をする新たな第1層協議体というものがあればいいと私は思いました。</p> <p>本日、初めて出席いただきまして、なかなかこの部会の流れがどういう方向なのか、難しい所もあったかと思うんですが、支えあい、ふれあいが必要という中で地域の民生委員として大事な働きを担っていただいておりますので、ご意見があればお聞かせいただければと思います。</p>
-----	--

部会員	<p>はい。あの健康でいきいきと暮らすとなっておりますよね。私達は、担当の方に行きいき元気クラブのご案内等もしています。民生委員が中心になって福祉の方もですが、カフェ・居場所等をうちの地域でもしています。そして先日待ちカードの研修に行ったんですけども、私のグループは、「60歳の定年の男性、子供2人いる」という感じでやらせていただいたんです。やはり定年した場合は、これからどうなるんだろう、何をしようと思った場合に、会社人間だった人は、地域で何をしてくるかというのが全然わからないので、「この地域では何をしています」「こういう人を募集しています」とかをチラシ等を出していただいたら、地域の担い手として参加してくれるのではないかなと思います。今はもう、民生委員もみんな高齢化になって本当になり手がなくなっている状態なんです。ここで色々な知恵を出し合い、若い人がなるべく参加できるようなそういう仕組みができればいいかなと思っています。本日はありがとうございます。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>インフォーマルの中でも大きな役割の見守りを担ってくださっていて、ありがとうございます。今後も率直な意見を提案していただければありがたいなと思います。</p> <p>「その他」の中長期の中では、ボランティアポイントが以前から上がっておりますが、これは、引き続きより精査をしながら方針を考えていくことになります。</p> <p>他には、ケースワークとコミュニティワークとの連携、専門職がコミュニティワークの理解を深めるための専門職と地域住民との勉強会の開催や、SC・地域包括や介護保険サービス協会等いろんな団体で共に連携を図りながら地域の活性化を捉えていきたいと思っています。様々な分野とリンクをしながら今後の展開を考えていきたいと思っています。今回は、短期を中心として協議しておりますが、次回は、今日の意見を元にして具体的な取組みを協議したいと思っています。</p> <p>それでは、最後のカテゴリに移ります。他部署との連携、これは中長期のところになっております。先ほども出ていましたが、空き店舗の活用、学校の空き時間の教室の利用、子供への福祉教育ということも上がっております。専門職や地域団体との連携については、第1層生活支援コーディネーターからご説明をお願いします。</p>
第1層SC	<p>「活動の継続・発展」の短期に支え合い活動の全市的ネットワークをあげております。令和5年度に地域活動を既に行っている団体、地域で活動をされていない地域の方、専門職の方の集まるネットワークを作りたいと考えております。例えば生活支援の活動が現在14地区のうち7地区ほど立ち上がっていますが、全地区に広がればとSCでは取組んでいます。その地域の方々にも参加いただくネットワークを作りたいと思います。</p> <p>目的は、既に活動している地域は活動の継続と活性化をめざし、活動していない地域は活動の立ち上げをめざして川西市全域に広がるのがひとつ、もうひとつが</p>

	<p>専門職の方と地域の活動者や SC との連携、情報の共有と理解を深めることです。このふたつを掲げて令和 5 年度に全市的につながっていきたいと思っています。ケースワークとコミュニティワークの理解を深めるネットワークにもつながると思います。</p> <p>令和 4 年度に第2層 SC とボランティアセンターが中心となり、「シェアはび講演会」を開催しました。地区福祉委員や地域の方々に参加くださいました。「シェアはび」というのは、「幸せをシェアをしましょう」という意味ですが、先ほどのご意見にもあったように今は、どちらかが支援してどちらかが支援してもらうという人材確保では無くなっていて、どちらもが支え合うっという認識が大事になっています。講師の酒井先生がとても人を引きつけるような話をしてくださいました。講演会以外に作業所の方や地区福祉委員会の方がバザーもしてくださり、工夫されたものになりました。ネットワーク以外にもこのような生活支援や通いの場も含めて、社会参加することを啓発する場を全市的に開催できればと思います。</p> <p>この短期の活動の継続発展についての説明を終わらせていただきます。では次、資料を配りますので、部会長お願いしてよろしいですか？</p>
部会長	<p>通いの場に対するアイデアは、他の課題ともリンクしてるところは多いですので、今から資料を配っていただきます。</p> <p>今回は、通いの場の人材確保というアイデアシートを出していただき、皆様のアイデアを基にして、方針・具体的な取組みを協議しましたので、また新たな地域住民による生活支援のアイデアを同時並行しながらやっていこうということです。ご自身の所属団体でできるアイデアや市の仕組みづくりのアイデアを、次回、話し合っていきたいと思っています。それと同時に通いの場の中長期の取組みに対しても今回また新たに良いアイデアや取組みが出ましたので、また私と事務局と第1層 SC で整理します。そして生活支援における人材確保のアイデアシートについても一緒に話し合いを持たせていただくという流れにさせていただきたいと思っています。場所と人の不足を市全体で考えていくことへの協議を進めていきたいと思っています。それを第9期川西市介護保険事業計画の中にしっかり落とし込むことができればと思っておりますので、引き続き皆様には貴重な意見を出し合ってください、活発な議論を展開できればと思います。</p> <p>何か他に最後これだけは言っておきたいことはございますでしょうか？</p>
部会員	<p>あの訪問型助けあい活動における人材確保を次回に向けてということですがけれども、皆さんが書く内容は、通いの場で書いたシートの内容とそのまま変わらないという風にすごく思います。</p>
部会員	<p>私もよろしいですか。生活支援を課題として感じておられる方もいるとは思いま</p>

副部会長	<p>すが、反面、実際どのぐらい足りないのかが、わかりづらい。例えばですよ。この生活支援の人材不足の以前は、「介護のヘルパーさんが足りない」と、まことしやかに聞くけれど実際どのぐらいの人数が、どこに足りないのか、逆に足りているところがあるのか等が具体的に全然わからなかった。それと同じだと思います。</p> <p>通いの場のアイデアも要は、子供食堂とか地域の居場所づくりの一環だと思うんですけども、そういったところなんかも「あったらいいな」というだけではなく、こんな風なものがあれば良いと地域が望んでいるとか、この地区は足りているが、この地区のこのあたりでは足りないとか、もう少し具体化したものがある方が、わかりやすいと思います。どのように取組めば良いのかというアイデアが出やすいと思います。</p> <p>ちょっとそれに付随しますが、以前も言いましたが、通いの場のことで困っているとしてそれは、人材だけなのか、場所なのか、内容なのかが見えない。具体的な地域の現状がわかれば、それが足りないのであればこういうやり方は、どうだろうかというものが出しやすくなるのではないかという印象はあります。</p> <p>あと、あちこち LINE、LINE と言われてますが、使うことで繋がりが広がっていくんだなと思います。私は、LINE は使っていないので、結構皆さんに驚かれますが LINE は、とても便利なツールだと感じる方も高齢者には多く出てくるんじゃないかなって気はします。はい、すいません。以上です。</p>
部会員	<p>私もよろしいですか。次回は、この生活支援のアイデアシートのことについて話し合いをするということですが、それでは今日のこのシートは、これでもうおしまいということですか。これで終わりではなく、合わせてする意見以外も、まだ協議していないところは優先順位を決めて協議しないといけないと思います。この通いの場のアイデアシートは、取組みにも方針にも「検討する」「審議する」ばかり書かれていて、それでは総理大臣と同じです。右側の部分は、ほとんど書いてない状態のままですよ。</p> <p>生活支援のシートもできるだけ全市的にできる取組みを分かる形で例にして書いていただいたら、話も早く進むかなと思います。</p> <p>もうひとつは質問ですが、生活支援のアイデアシートですけれども、これは、介護保険から外れる人を対象にするということですか？</p>
第1層SC	<p>説明させていただきます。</p> <p>今日は、通いの場の人材確保にかかるアイデアシートの短期を協議をしていただきました。</p> <p>今、生活支援におけるアイデアシートを皆様にお配りしましたのは、次に通いの場の中長期的なアイデアを検討する前に、生活支援におけるアイデアシートをご記入い</p>

部会員	<p>ただき、通いの場に対する人材確保と生活支援に対する人材確保への取組みのアイデアが重複するところを整理して、重なっているところは両方への取組みとして協議するためです。</p> <p>分かりづらくて申し訳ないのですが、生活支援についての人材確保のアイデアシートにもご記入いただいて、通いの場と重複するのであれば一緒に考え取り組んでいく、また通いの場だけ、生活支援だけで取り組む必要のあるところと別々に取組みもというように整理ができればと思います。</p> <p>通いの場のシートが終わっていないのにお配りしましたのは、両方のシートを見て重複する取組みも合わせてご記入いただく方がわかりやすいのではないかとということでお配りしました。ですので、通いの場のシートはもう何もしないというわけではなく、通いの場の協議体としての取組みのところの空白の欄も次回から皆様と協議して埋めていきます。</p> <p>あの、私達が地域でできるような介護保険とは別の、いわゆる高齢者が増えることに対してできるような取組みの生活支援のことですね。</p>
第1層SC	<p>はい。</p> <p>各地域でやられている訪問型助け合い活動です。介護認定を受けておられる受け取られないは関係ない、地域の方の活動です。</p>
部会員	<p>はい、それは、介護保険とは全く別の地域での生活支援であったりとか通いの場であったりとかに関してのアイデアということですね。</p>
第1層SC	<p>はい、そうです。住民主体でされておられる訪問活動に対するアイデアシートになります。よろしくお願いいたします。</p> <p>次回迄に生活支援の方のアイデアをご記入いただいて重なっているところと全く別のところとを整理して、おそらく通いの場の方からだと思うんですが、協議させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
部会員	<p>はい。色々たくさんアイデアは、あると思います。はい、地域での活動に必要なアイデア出しが皆様でできればと私も思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
第2層SC	<p>ちょっと確認します。訪問型助け合い活動という名前がなかなか耳慣れない方もいらっしゃるかと思うんですけども、第2層としてもこういう取組みを全市的にやっていきたいと取り組んでいるんですけども、ちょっとした困りごとですね。例えば、庭掃除とか電球の交換とか、そういったもののことですね。住民同士でできる</p>

第1層SC	<p>ことは自分たちで助け合えるような地域づくりをしていこうという活動へのアイデアシートということでいいですね。わかりづらい方も中にはおられるかなと、思いまして、確認しました。</p> <p>このシートには、生活支援訪問型における人材確保とあるんですが、地域課題のところを見ると、例えば上から6行目に子供食堂の実施を通しての若い世代の地域活動への参画がありますが、子供食堂の実施というのは、カテゴリ分けするとどちらかというに通いの場のイメージを持ちます。シートの表記と課題の内容とを精査した方が良いと思うので、確認いただければと思います。</p>
部会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>訪問型の助け合い活動がある市で調査したところ、「ゴミを捨てるのが大変」という方を100%として「地域でゴミ捨てを手伝って欲しい」という方は20%程度しかない、逆に地域の方は「ゴミ出しのお手伝いをしてもいい」という方が85%もおられたそうなんです。支えてあげたい、何か手伝いたいと思っておられる方というのは案外多くて、支える方、支えられる方を分けて考えるだけではなく、アイデアを出していただければと思います。</p>
部会員	<p>はい、ぜひ視点を変えて支え合うという活動に対する人材確保も考えていただけたらと思います。最後にすいません、本日、全般を通して、また次回の部会に対する意見とか、何でも何かありましたら一言いただけたらありがたいですが。</p>
部会長	<p>はい、ありがとうございます。認識がかなり浅いもので、なかなか皆様の議論についていけなかったのが正直なところなんですけども。発言の機会をいただいている質問するのなんです、このシートに記入をするのに自身の所属団体でできるアイデアと、あと市全体で取り組むアイデアを記入するってことですね。私に置き換えて言うならば、所属団体はシルバー人材センターですね、この課題に向けて何かできるようなことがあれば記入するというと、例えばうちの団体は、生活支援を有償で請け負っていますが、協力できるとすればそういうことになってくるんですけど、そういうことを記入してもよいのですか。</p>
部会長	<p>第1層SC、お答えいただけますか。</p>
第1層SC	<p>はい、いろんな形での助け合い活動があると思いますので、シルバー人材センターで現在されている活動を書いていただいて、この部会でご説明していただいてもいいですし、例えば、どれぐらいの人が現在活動されておられるとか、どういう活動の依頼があるのにそういう人材がない等も含めて教えていただいてもいいかと思います。また、全市的な取組みをこのようにしてくれたら、もっとできるようにな</p>

<p>部会員</p>	<p>る等の提案をご記入いただければありがたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>わかりました。こちらこそよろしくお願いいたします。ちょっと今すぐには出てこないんですけど、また考えさせていただきます。</p>
<p>第1層SC</p>	<p>助け合い活動を具体的に書いていないため、分かりづらくて申し訳ありませんでした。第2層SCが仰ったように、草抜きだったり、話し相手だったり、家の電球を変えとか、そういう住民同士の助け合いの活動のことを示しております。先ほども申しましたが、シートを2枚お配りしたことで、まるで通いの場の方は、本日で終わらせたように思われるかもしれませんが、今後も継続して協議しますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>部会長</p>	<p>シートのことはお解りいただけましたでしょうか。</p> <p>インフォーマルできることとは違い、シルバー人材センターでは、より専門性のいることをやっているとか、ワンコインでできますよとか、1時間いくらでこんなことができます等というような情報提供もあれば助かるかなと思いますので、シートの中に落とし込んでいただければすごくありがたいです。</p> <p>訪問型助け合い活動という言葉に引っ張られてしまって、何を書いたらいいのかということがちょっと戸惑いがありました。地域でできる助け合いを検討していただければと思っております。</p> <p>通いの場も終わったわけではなく、同時並行で引き続きより深めていきつつも、新たなこのリンクしている助け合いと合わせて捉えていきたいと思っておりますので、今日の思いを引き継ぎながら、またこのシートに書き込んでいただけるとありがたいです。</p> <p>それでは、その他3の事項につきまして、副部会長も是非啓発するようにとおっしゃってくださった、福祉医療の総合情報サイトかわにしサポートナビの現況をご報告をさせていただきます。第1層SC お願いします。</p>
<p>第1層SC</p>	<p>福祉と医療の総合情報サイト<かわにしサポートナビ>、かわナビにつきまして、ご報告させていただきます。</p> <p>まず、かわナビの現状としましては、令和4年3月25日に運用を開始しまして、全体の登録件数は、1,554件(2月末時点)です。</p> <p>内訳としましては、介護保険サービス211件、障がい福祉サービス203件、病院・歯医者・薬局290件、インフォーマル850件となっております。</p> <p>また、市民向けトップページのデザインを3月からリニューアルしましたので、前のスクリーンをご覧ください。</p>

	<p>大きな変更としましては、トップ画面に画像を配置し、カテゴリ検索が細かなカテゴリでも可能となりました。</p> <p>続いて、現在の取り組みですが、全登録団体に対して、7月末から実施しました更新調査が完了しました。完了にあわせて、広報誌12月号でかわナビの広報を行いました。なお、各団体の皆さまへは、掲載内容の変更を随時受け付けさせていただくことをお伝えしており、さらに生活支援コーディネーターが情報の変更を把握した際には速やかに更新を行うなど、情報の鮮度を保つよう努めております。</p> <p>市民向けサイトは、1月あたりの平均で約7,600ページが閲覧されています。委託業者に他市と比較をしていただいたところ、他市では多くても5,000ページの閲覧となっているとのことで、本市では高水準のアクセス数があります。今後も、このアクセス数を維持できるよう、掲載情報の充実に努めていきます。</p> <p>かわナビを立ち上げてまもなく1年が経ちますが、第2層生活支援コーディネーターの皆さんがコミュニティ組織など様々な団体を回って、情報を掲載していただいています。運用開始2年目の令和5年度は、コミュニティ組織などだけでなく、自治会での活動などの資源を見つけ、新規掲載に繋がられるよう、第1層・第2層生活支援コーディネーターが今後も連携して推進していきます。以上です。</p>
部会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>このように皆さんの意見と共に改良を重ね、より良い形で見やすいように改良していていますし、ここに空き家の状況であったり空きスペースであったりも掲載していきます。その中に利用の方法、金額というところも入れていく予定にしておりますので、また皆さんもかわナビのご活用を広めていただければ幸いです。</p> <p>では、最後はあの事務局より次回の開催にてについてご連絡お願いいたします。</p>
事務局	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>その前に今お配りした「訪問型助け合い活動の人材確保に向けたアイデアシート」ですが、データでお送りしてご返信いただくことも可能ですので必要な方は、事務局までお声かけください。</p> <p>それでは、次回の開催予定でございますが、日程等詳細につきましては部会長と協議の上、改めてお知らせいたします。</p> <p>本日は、長時間にわたりありがとうございました。</p> <p>なお、駐車券の処理が必要な方は、職員へお申し出ください。</p>
部会長	<p>それでは、令和4年度第4回川西市介護保険運営協議会「生活支援体制整備部会」(第15回第1層協議体兼地域ケア推進会議)は、以上をもちまして閉会といたします。部会員の皆さまには貴重なご意見をいただきありがとうございました。</p>